

子育て支援政策と
ぶんバスなどについて

日本共産党国分寺市議団 **やなぎ孝義**

【子育て支援政策について】

問) 子ども家庭支援センターを子育て支援の中核拠点としていくことについて、今後どう進めるか。

子ども政策担当部長) 運営協議会に諮問し、20年度に答申をもらう。

問) 恋ヶ窪保育園の公設民営化にあたって、公立保育園の保育内容水準を守る保証は。

子ども政策担当部長) ガイドラインと合わせて、市の保育水準をまとめたものを資料としてつけている。

問) 審査の具体的基準としてガイドラインと一体として運用されるということか。

子ども政策担当部長) そういう形になる。

※この他、●職員配置で人数や経験年数などのバランスを現在の水準より下げないこと。●相談業務の専門職員を各園に配置することなどについて求めました。

【ぶんバスと既存路線の改善について】

問) 西部地区ルートの運行開始は。

都市建設部長) 2月を目指して準備している。

問) 既存バス会社に対し、時刻表への低床バス表示を要請してほしい。

都市建設部長) 高齢者にとって利便性が高いと考えるので、バス会社に要望を伝える。

75歳以上の医療制度
抜本的見直しと改善を

日本共産党国分寺市議団 **中山幸子**

問) 後期高齢者医療制度は75歳以上の高齢者のみの制度。対象者は何人か。また、これまで扶養家族で保険料ゼロの方からも徴収。何人に。

部長) 対象は9600人。新たに負担する方1200人。

問) 運営は都道府県単位で都広域連合で保険料を設定し、試算で15万円以上に。この根拠は。

部長) 詳しい資料はまだ。国の支出・調整交付金が10割(制度上)になると保険料を低くできる。

問) 医療費が伸びると保険料が高くなるこの制度。国や都に支援策を求め、制度の見直しを。

市長) 国・都の財政責任と支援策を要望する。

問) 中学3年までの子ども医療費無料化は22区1町3村に(全都)。国分寺市も早急に実現を。

市長) 多摩格差の是正が必要。この制度は少子化・子育て支援策としても大事、所得制限の撤廃と補助率の引き上げを都に求める。

問) 法改正による耐震改修促進計画の進捗状況と対象となる公共施設数は。民間への助成は。

部長) H20年3月までに策定予定。対象は20数件では。助成は20年度からで4月が効果的。

問) 自立支援法施行後の実態調査はいつから。

部長) 方策を協議し、10月以降に。

★改正介護保険法による日中独居と軽度者の利用制限はないか。また、監査などを通しての都独自基準の行き過ぎはないか調査を求めた。

北口再開発と新庁舎建設の
同時並行は無理だ

無会派 **甲斐よしと**

仮庁舎は来年度より5年間のリース契約だ。北口再開発と新庁舎建設を同時並行的に進めていくことは財政的に極めて危険だ。仮庁舎のリース期間延長が可能という答弁を得たので、北口再開発の終焉する財政支出が計れるまで、新庁舎建設は待ち、仮庁舎のままでよいのではないかと問うた。そもそも現庁舎は計8000㎡程度なのに1万3600㎡の新庁舎を計画している等、通常、役所の仕事は慎重で計画も多大な時間がかかり、遅いと言われているのに、逆にこんなに早く細かな数字まで出ている。もっと検証や検討をすべき時間が必要はずだと申し上げた。

【4月に部長が4人急増した件について】

管理職削減を唱えてきたはずなのに逆行だ。(仮称)部長相当職任期制の導入を提案した。現行法では処分降格人事以外ではできないからだ。

【透水性舗装道路について】

地下水の涵養、ヒートアイランド現象の緩和の効果がある。都も試行中だ。環境対策として財源補助を得ることを視野に導入検討を求めた。

【行事決行の合図である花火の騒音について】

土日、早朝の花火の音に「うるさい、ところで何の行事なの？」と鳴らした意図がわからない人には単なる騒音なので、防災無線での代用の検討を求め、祭り等、庁外行事ともご相談を。

道路管理について

民主市民クラブ **星 文明**

星) 道路管理について伺う。現在、道路延長に対して官民境界が確定している比率は。

都市建設部長) 道路延長に対して73.89%だ。

星) 今後残された境界確定についてどう進めるのか。

都市建設部長) 市民からの確定の申し出があった場合等に確定する。また、来年度から地積調査の実施を予定している。

星) 道路の不法占有(占拠)が目立つ。大きな看板や植木、ごみバケツ等で占有されている。排除すべきと考えるが対策はどうか。

都市建設部長) 都道は都、市道は市で指導し是正を行っていく。当市は、都道と市道が入り組んでいるため、都と市との共同で指導や撤去を行っている。

星) まちづくり条例以前の中高層建築物指導要綱で、指導し、協力を頂いた部分について、一体どこが責任をもって管理しているのか判らない。地主の自主管理等もある。調査をし、対策を講じる必要があると思うが。

都市計画担当部長) 公開空地等をつくってきたが、要綱の限界もあり、適正に管理されていない。中心市街地で連続している実態があるので、実態を調査し、対策を検討する。

行革は、まず市長自ら
行動で示すべき!

無会派 **木村 徳**

木村) 温暖化対策の一環としても、4,000ccの大排気量の黒塗り市長専用車は廃止すべきだ。

市長) 今の公用車が適切かどうかは、車の耐用年数を考えて対応する。

木村) 職員を5年で100人減の一方で嘱託職員は100人以上増だ。今後の考え方を明示せよ。

市長) 明確な計画は立案していない。

木村) 112ヶ所ある市内の信号機の内、歩車分離になっているのは1ヶ所しかない。歩行者の安全確保の為に、歩車分離信号化を。

部長) 教育委員会・福祉保健部とも協議をし、警察へ要望していく。

木村) 大地震発生直前の行動によって救われる命も多い。市でも緊急地震速報の活用を。

部長) 総務省消防庁のJアラートシステムも効果的で、これを含めて導入を検討する。

木村) 地震直後の水の確保は重要だ。避難所となる小中学校にも、井戸の整備をすべきだ。

教育長) 学校にも井戸があれば、様々な活用ができる。教育委員会としても考える。

木村) 北口再開発を含め今後の公共施設整備においては、屋上緑化等、温暖化対策を念頭においた設計を行う方針でいくべきだ。

市長) 環境基本計画に基づき、実施計画をきちった形で作っていく。

意見書を可決

第3回定例会では、下記の意見書を可決し、関係機関に送付しました。(文面はホームページに掲載しています。内容についてのお問い合わせは調査担当(内581)まで)

【厚生委員会提案】

意見書第4号 身近な地域で安心して産み、子育てができるよう法整備を求める意見書

意見書第5号 原爆症認定制度の抜本改善を求める意見書

意見書第6号 後期高齢者医療制度への国庫負担拡大を求める意見書

【議員提案】

意見書第7号 都市農地保全に関する意見書

意見書第8号 「高校歴史教科書検定での沖縄戦『集団自決』に関する記載内容」への修正指示の取り消しを求める意見書

次の定例会開催予定

議会はどなたでも傍聴できます。

平成19年第4回定例会(11・12月開会予定)は、11月28日(水)から開会の予定です。※本会議は市役所本庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。 議事担当(内468)

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

平成19年第4回定例会(11・12月開会予定)からの審査を希望する方は11月8日(木)までに提出してください。

※ご不明な点は、事前にお問い合わせください。 調査担当(内581)

閉会中の委員会開催予定

委員会はどなたでも傍聴できます。

平成19年第3回定例会～第4回定例会の間に開催する委員会は右記のとおりです。

10月15日(月)	庁舎建設特別委員会	10月31日(水)	総務委員会
10月23日(火)	自治基本条例審査特別委員会	11月1日(木)	建設環境委員会
10月24日(水)	文教委員会	11月2日(金)	国分寺駅周辺整備特別委員会
10月29日(月)	厚生委員会		

※委員会は市役所本庁舎3階第2委員会室で、午前9時30分から開始予定です。